



Transaction（取引）の語源は？ | 金融・経済の英単語



Transaction（取引）

「transaction トランザクション」は素人目にもわかりやすい語形をしているのではないのでしょうか。trans-（だいたい英語のoverの感じ）と action（行い、行為）が接合した語で、広い意味での「取引、売買」です。もととなる語は、transact（処理する）です。

語幹の action は、ラテン語の動詞 agere（為す）の名詞形 actio が語源となります。

この agere の現在分詞が英語の「agent（エージェント、代理人）」となり、名詞形が「agency（代理店）」です。フランス語では警官を agentと言います（もちろん代理人の意味もあります）。

action の動詞は act

です。「行動する」という意味ですね。ここからおびただしい数の語が生まれました。まず「～する人」は、actor（俳優）と actress（女優）、形容詞は3つあって、actual（現実の）と active（活動的な）と acting（代理の、演出用の）です。副詞形は、actually（実際に）、actively（活動的に）です。形容詞の名詞形 activity（活動）もとても重要な言葉ですね。

「反復、強調」の接頭辞 re- がついた react

（反動する）は、「reaction（リアクション、反動、反応）」というおなじみの名詞をつくります。形容詞は reactionary（反動的な）です。科学の分野で reactor は「原子炉」の意味です。

接頭辞 trans-

は多くの語を作りますが、ここでは日本語化している若干の語彙を紹介するにとどめます。

「transcription トランスクリプション（転写、コピー）」、「transfer トランスファー（振替）」、「transformer トランスフォーマー（変圧器）」、「translator トランスレーター（翻訳家）」、「transmission トランスミッション（伝導装置）」・・・まだありますね。「トランジスタ」は、transfer と resister を縮めた造語です。

飛行機に乗ると「トランジット（transit）の方は～」と言われますよね。これは「乗り換え」の意味です。

文：猪浦道夫・天宮徹也（共同執筆）／編集：M&A online編集部